

タウンとびっくす

T o w n t o p i c s



『大崎町女性の広場推進大会』

1月28日（金）、大崎町中央公民館において『男女で共につくりあげる心豊かな大崎町を目指して』と題して、平成16年度女性の広場推進大会が開催されました。

大崎町青年団『鼓響』の太鼓演奏で幕を開け、第1部では『母親になってから～それぞれの立場から思うこと～』というテーマで、意見交換会が行われました。

世代の違う2名の女性から、それぞれが母親になってからの意見発表があり、その後の意見交換の場では、参加者から様々な意見が出されました。

第2部では『これからの大崎町』と題して、東靖弘町長のイキイキ講演会が行われ、最後に全員で「今日の日 はさようなら」を合唱し幕を閉じました。

『シイタケのコマ打ち体験』

2月9日（水）、野方小学校（山住哲郎校長）の5年生の児童24人が、総合的な学習の時間『のびっこ』を利用して、シイタケのコマ打ち体験をしました。

指導にあたったのは、県大隅農林事務所の職員の方方で、児童たちは、用意された54本のほだ木（約1メートル）にドリルで穴をあけ、その穴にシイタケ菌の付いたコマをかなづちで打ち込みました。5年生の小牟田伝くんは「ドリルで穴をあけるのがこわかったけど、コマ打ちは楽しいでした。」と話してくれました。

シイタケが収穫できるのは約1年後。卒業までに間に合うといいですね。



『福祉車両が贈呈されました』

2月22日（火）、『平成16年度第27回24時間テレビ福祉車両贈呈式』が、鹿児島読売テレビにおいて行われ、大崎町社会福祉協議会ほか5団体へ福祉車両が贈呈されました。

今年度の鹿児島県内での募金額は、763万152円。全国での募金総額は、7億1,904万5,124円集まったそうです。この募金は、巡回お風呂カーや福祉車両、災害緊急援助、身体障害者補助犬の普及支援などに使われています。

大崎町社会福祉協議会へ贈呈されたのは、車いすのまま乗車のできる『スロープ付き自動車』1台で、贈呈を受けた当協議会副会長の小林一郎さんは「高齢者や身体の不自由な方々の社会福祉向上のために、有効に活用させていただきます。」と話されました。